

緊急国際シンポジウム

福島原発事故に対する健康・心理への影響及び コミュニケーション問題について

福島第一原子力発電所での深刻な事故状況で広がる不安と戸惑い。国際的なNGOであるNYC Medicsは、人道支援活動として、医学、保健物理学、公衆への対応、およびリスク・コミュニケーションの分野での支援をするための専門家派遣を決めた。

それぞれ健康物理学、救急医療、リスク伝達などを専門とする医師が、病院や医療施設で勤務する医師・専門職、公共的な情報提供担当者、救急救命士などに対して放射能問題や事故管理、リスク伝達についての考え方やトレーニング方法などについて講演。

福島原発周辺地域での現地調査を踏まえ、災害情報の解析、必要な対応への詳細なプラン作成、具体的な提言も行う。

※「NYC Medics」は非営利の災害救済及び人道支援組織であり、災害後即座に救急医療と人道救助を困っている人々に提供し、緊急人道援助の複雑性や場所の隔てなく、また人種や協議、政治的な所属に関わらず継続的に支援を提供する。

2005年以来、NYCメディックスのプロの医療専門家は自然災害による26,000名以上人命救済と救急医療を提供してきた。

TMATとは

TMAT (特定非営利活動法人) は、世界の人々の生命と健康を守るため、医療・災害支援・教育などの総合的な医療支援を各国政府やNGO、地域団体と協力しながら活動しているNPO団体です。

平成7年1月の阪神淡路大震災で徳洲会グループの医師等が中心となり、ボランティアグループとして救援活動を始めた事がきっかけとなりTDMAT(徳洲会 災害医療救援隊)が誕生いたしました。その後、TDMATの災害医療救援活動は国内だけにとどまらず、国境を越えた医療支援を実現し、世界医療の向上にむけて活動を行ってきました。

2005年7月、「特定非営利法人TMAT」としてNPO法人を創立。「生命だけは平等だ」の理念のもとで、TDMAT災害医療救援活動、また医療技術支援活動等を通して、よりよい医療を世界中の人達が受けられるように迅速かつ継続的なサポートを行っています。今回の東日本大震災でも約800名の医療スタッフを現地に派遣し医療支援活動を展開。現在も支援活動を継続中です。



詳しくはホームページにて <http://www.tmat.or.jp/>

主催：NPO法人TMAT